公益信託 高知新聞・高知放送「生命(いのち)の基金」助成事業

医療的ケア・重度の障がいのある人の卒後の居場所を考える

卒後、18歳からの未来について共に考えてみませんか？
自分らしく生きるために、どんなサポートが必要？自立って？
「グループホーム」について、知っていますか？
今回は、「グループホーム」について学び、考えます。

開催日時 2023年3月5日(日)　15:00－18:00

開催方法 オンライン開催(zoom)

講　師 山本　智恵子　氏　株式会社イデアル代表取締役

株式会社イデアル代表取締役／合同会社といろ代表社員／一般社団法人ReFREL代表理事／全国訪問ボランティアナースの会 キャンナス熊本代表

熊本県在住。准看護師として病院勤務や訪問看護を経験。2017年障害児用衣服を自ら作る「ReFREL」を設立。2018年就労継続支援B型事業所、販売店舗「トイロ・エフェクトリー」をオープン。2021年医療ケアが必要な重度の障がいのある方が入居できる障害者グループホーム「ファミリン」を開設。また、死産児を抱っこすることができるエンジェルドレスを開発。エンジェルドレスを通して、命の大切さを伝える活動も行っている。

- ●対象者：高知県在住の当事者家族・支援者の方等
- ●参加費：無料
- ●定　員：50名
- ●お申し込み締切：2023年2月28日(火)
- ●お問い合わせメールアドレス：
  kochi.icare.sotsugo@gmail.com

- ●お申し込みフォーム
  https://forms.gle/uEbS99p32Aa8axep9
- ●お申し込みQRコード

主催／高知県医療的ケアの必要な子どもの家族の会　～結人(ゆいと)～

医療的ケアが必要な子ども達、きょうだい、家族、みんなが地域で楽しく豊かに暮らしていくことを願って活動しています。ロゴマークは高知県の県花「ヤマモモ」をモチーフに、高知の豊かな大地と海と太陽を表現し、大地に「イケア」の文字が溶け込み、「医ケア」を必要とするみんなが高知であたりまえに暮らしている。そんな願いを込めています。

協力／特定非営利活動法人みらい予想図

地域社会で重症心身障がい児者、医療的ケア児者、その家族を支える仕組みを創るために発足。ロゴマークは、どんな人でも手をつないで生きていける地域を作る・ここに来たら必ず“つながる”ことができる・そして、一緒にみんなで支え合える地域社会になるよう、「共生する未来」をイメージしています。